

(平成27年6月作成)

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1210	(H.26)No.	1210
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地場産業振興事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	商工経済室	野口 泰弘	

会計区分	事業コード	361801
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	地場産業振興事業	
項 商工費	(小事業名)	
目 商工業振興費	地場産業振興事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	5	都市産業の振興
	施 策	1	都市産業
	小 施 策	1	商業・サービス業の振興
重点施策コード		2-6.実践型地域雇用創造事業推進(なばりブランド創造プロジェクトの推進)	

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
・新規事業の創出や育成、市内産業の活性化を図るとともに、名張ブランドの醸成を図る。 ・「まちの駅なばり」を拠点として観光・物産など地域経済の活性化と地域福祉の増進を図る。
事業内容
・地域資源を活用し、名張のブランド化につながるオリジナル商品開発を支援する。 ・「まちの駅なばり」を観光交流施設、地域経済の活性化の拠点として広く周知するとともに、関係団体と連携した取組を推進する。 ・県が設置した首都圏営業拠点「三重テラス」等において名張の地域資源を活かした商品等を広く周知する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	・オリジナル商品開発を支援する。 ・「まちの駅なばり」を観光交流施設、地域経済の活性化の拠点として広く周知するとともに、関係団体と連携した取組を推進する。 ・県が設置した首都圏営業拠点「三重テラス」等において名張の地域資源を活かした商品等を広く周知する。		
主な事業の実績・計画	・名張オリジナル商品開発支援事業 1件	・名張オリジナル商品開発支援事業	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
	・まちの駅なばり推進事業 イベントの開催等 ・首都圏営業拠点活用事業 三重テラス活用事業	・まちの駅なばり推進事業 イベントの開催等 ・首都圏営業拠点活用事業 三重テラス活用事業	・名張オリジナル商品開発支援事業 ・まちの駅なばり推進事業 ・首都圏営業拠点「三重テラス」活用事業	・名張オリジナル商品開発支援事業 ・まちの駅なばり推進事業 ・首都圏営業拠点「三重テラス」活用事業	・名張オリジナル商品開発支援事業 ・まちの駅なばり推進事業 ・首都圏営業拠点「三重テラス」活用事業

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	3,453千円	4,062千円	4,062千円	4,062千円	4,062千円
内 国・県支出金					
内 地方債					
内 その他(基金繰入)	1,934	1,000	1,000	1,000	1,000
内 一般財源	(0) 1,519	3,062	3,062	3,062	3,062
人工数					
内 職員	0.26人	0.31人	0.31人	0.31人	0.31人
内 臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 1,950千円	2,325千円	2,325千円	2,325千円	2,325千円
①+②総事業費	(0千円) 5,403千円	6,387千円	6,387千円	6,387千円	6,387千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
三重テラス「名張の日」開催、塩竈市でのグルメフェア出展などを実施した。引き続き、名張ブランド化を図るため、「まちの駅なばり」や「三重テラス」等を活用し、観光物産などを発信していく必要がある。一方、名張オリジナル商品開発支援事業では1件の新商品開発にとどまり、支援方法を再考する。	「まちの駅なばり」や「三重テラス」を活用したイベント等による、観光物産の発信とともに、名張オリジナル商品開発事業や実践型地域雇用創造事業で開発した新商品を活用しながらのブランド化を図っていく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	「まちの駅なばり」や「三重テラス」の活用により、地域経済の活性化に貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	「とれたて名張交流館」への商品の出荷やイベント等に参加している。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市産業振興ビジョン
新商品開発支援について、従来の提案公募の方法を見直す必要がある。	